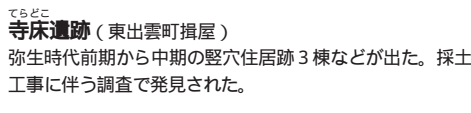




福富1遺跡 (松江市乃木福富町)
丘の上から出た弥生時代後期の住居跡。松江道路の工事に伴う調査で発見された。



寺床遺跡 (東出雲町揖屋)
弥生時代前期から中期の竪穴住居跡3棟などが出土。探土工事に伴う調査で発見された。



折原上堤東遺跡 (八雲村西岩坂)
弥生時代後期の竪穴住居跡と古墳時代中期の竪穴住居跡がそれぞれ5棟と、古墳時代の掘立柱建物跡も出てきた。多目的広場の造成に伴う調査で発見された。



野田西遺跡 (瑞穂町上亀谷)
河岸段丘上から弥生時代の竪穴住居跡を始め、30棟以上の建物跡が出てきた。鉄器が出土したり、焼けた住居跡もあるなど貴重な資料となっている。現在ゴルフ場となっている。



前立山遺跡 (六日市町注連川)
中国自動車道が貫いた山間の集落...

おもに中国山地の南側の山合いを縦貫する中国自動車道は、島根県では唯一、六日市町だけを通過する。そこから、大規模な集落や墓の遺跡が発見された。谷間に広がる水田を見おろす低い丘の上であり、弥生時代から古墳時代初期の竪穴住居跡が20棟以上、平安時代初期の掘立柱建物跡が3棟見つかった。弥生時代の住居跡からは刈り取りに使う石包丁や鉄の鎌が出てきており、当時から山間部でも米作りが行われていたことがわかる。また勾玉やミニチュアの土器など、祭りの道具が出ているのも注目される。



またばの場遺跡 (松江市本庄町)
弥生時代後期の住居跡が出てきた。田んぼの整備に伴う調査で発見された。



勝負遺跡 (松江市東津田町)
弥生時代後期から古墳時代中ごろの竪穴住居跡が20棟出てきた。この調査では、住居跡が丸いものからしだいに四角いものに変っていく様子がよくわかった。現在は松江道路。



湯谷悪谷遺跡 (石見町日貫)
山の上から弥生時代終りごろの竪穴住居跡が出てきた。近畿地方の土器や鉄さいなど、珍しい遺物も出てきた。町立施設建設に伴う調査で発見された。

集落の跡

田んぼの跡



夫敷遺跡 (東出雲町出雲郷)
...洪水で埋もれた弥生時代の水田...
現在の田んぼの下から、今よりも区画の狭い、弥生時代中ごろの水田跡が出てきた。水を引くために水平にする必要があるため、現在のような大きな田んぼを作るのは、技術的に難しかったのだろう。畦はわずかしが盛り上がっていないため、通常発見することは難しいが、ここは洪水でいっしょに砂の下に埋まったために検出することができた。今は松江道路。



上小紋遺跡 (松江市竹矢町)
弥生時代の水田跡とともに、柵の列や木で作った農具も出ている。近くの向小紋遺跡でも水田跡が見つかっており、今はともに送電線鉄塔の下に眠る。

発掘(ば)れ話

なめる...

竪穴住居は、一段低く掘りくぼめて造ります。発掘では、そのくぼみに流れ込んだ土と、周囲の土との違いを見つけて掘っていきます。

堅い地山の上から掘った住居跡は、周囲との区別がつきやすく比較的わかりやすいのですが、流れた土の上から掘られた住居跡は探すのが困難です。土の色だけでなく、堅さや粘り、土の粒の状態などをなめるように観察して判断しますが、調査員の中には万策尽き果てて本当に悩む者もいます。味が違うんだそうです...

陽徳遺跡の竪穴住居
色の違いを見て、柱穴や溝の線を引き

弥生時代の生活遺跡



2万年以上前の石器

縄文時代初期の土器
堀田上遺跡 (瑞穂町市木)
...旧石器時代から縄文時代初期の県内最古の集落跡...
2万年以上前の旧石器時代の石器や、県内最古の縄文時代早期(約8000年前)の竪穴住居跡が出てきた。出てきた石器や竪穴住居跡は現在のところ、県内最古のもの。浜田自動車道建設に伴い調査された。



中央左よりに竪穴住居跡がある。

五明田遺跡から出土した土器
赤い顔料が塗られ、縄文模様とマッチして美しい。



五明田遺跡 (頼原町八神)
現在は町道の下にある五明田遺跡からは、縄文時代後期(約4000年前)の土器がたくさん出た。



石のペンダント **石組炉** 石は焼けている。
日脚遺跡 (浜田市日脚町)
住宅団地造成に伴って調査された日脚遺跡からは、縄文時代早期(約7000年前)の石組炉や落し穴が出てきた。土器や石器が集中して出る場所もあり、住居跡もあったに違いない。珍しい石のペンダントも出た。

縄文時代以前の生活遺跡

縄文時代以前の生活の跡は、まだ調査例が少なく、とくに住居跡のような直接の生活の跡が見つかった例はまれです。それでも住居跡以外で、縄文人の生活をうかがうことができる遺跡は、近年しだいに明らかになりつつあります。